

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171000161		
法人名	医療法人 清友会		
事業所名	グループホーム やどりぎ		
所在地	佐賀市大和町大字久池井1635番地		
自己評価作成日	平成28年12月5日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/41/index.php?action_kouhyou_pref_topjigyosyo_index=true
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成29年1月20日	外部評価確定日	平成29年2月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>当グループホームは広い中庭を持ち、畑があり、さまざまな木々が植えられていて、とても自然の環境に恵まれている施設です。この恵まれた環境を生かし、野菜を育てたり、果物の収穫をしたりしています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>佐賀市の北部に位置する清閑な住宅地の一角に在るグループホームで、格式のある民家を改修して開設されている。大きな門構えには「やどりぎ」と堂々と書かれた表札が掛けられている。リビングからは手入れの行き届いた広い庭が眺められ、温かみのある家庭的な雰囲気となっている。経営母体の法人が認知症専門の医療機関であることから、利用者の安心・安全を最優先としており、夜勤者以外に夜間宿直を配置するとともに、利用者の希望でデイケアサービスを利用して体力の低下を予防できるよう支援している。</p>
--

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	普段から「笑顔」で接し、入居者様の「笑顔」を引き出せるように努力している。また、地域とも笑顔で付き合うことも意識している。	事業所のケア理念として「利用者本位の運営」「自立支援」「専門性の高いチームケア」等掲げている。その中でも、利用者の笑顔を引き出せる職員の「優しい笑顔」を最優先の理念として共有し実践している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に入会し、回覧板も回ってきている。区役に参加したり、隣近所の方と気軽に声かけあったり、会話が出来る関係を築いている。	自治会にも加入し、回覧板等の配布もなされており、地域の一員として春・秋の溝掃除や草取り等の地域行事にも参加している。事業所が住宅地の中にあり、近隣の方とは顔なじみで挨拶や声掛け等、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	法人での取り組みは行っているが、事業所単独での取り組みは行っていない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の中で報告し、意見交換を行っている。	運営推進会議は2ヶ月に1回開催している。地域包括支援センター職員・区長・民生委員・家族・利用者・事業所職員等多数の参加で開催され、行事の結果や行事予定・利用者の様子等を報告するとともに、双方向から意見交換をしてサービス向上に活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	主に運営推進会議で行っている。また、法人担当者が市町村との連携を行っている。	経営母体の法人の在宅部長・副部長が市との窓口となり、事業所の実情やケアサービスの取り組み等積極的に伝えながら、協力関係を構築している。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行っていない。理解はしているが安全面を考慮し、必要最小限の施錠は行っている。見守りが十分できる場合は窓を全開にしている。	法人内の勉強会や研修が行われており、職員は身体拘束の弊害を良く理解している。安全面を考慮して、必要最小限の施錠はあるが、見守り等により日中の玄関は施錠していない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内の他のグループホーム合同で虐待防止に関する勉強会を行っている。研修会に参加。また、虐待に結びつくような事がないように、一人一人が注意していく様に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	日常生活支援事業や成年後見制度の勉強会実施していないが、必要時法人相談員と連携を図り支援できる体制は整っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約時に十分な説明を行い、理解して頂いている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常生活の会話の中で意見や希望を聞いて応じられるように努力している。	2ヶ月毎の運営推進会議に多数の家族や利用者の出席があり、意見・要望等を管理者や職員、外部者に表せる機会となっている。また、職員は面会時や日常の会話の中で希望等を聴いて支援に繋げている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の検討会で話し合い、業務に生かしている。また、必要であれば管理者から上司に報告している。	毎月1回法人のスタッフ会議を行っており、在宅部長・副部長の出席の下に、その中で出された運営に関する職員の意見や要望を業務に活かしている。出された意見や要望は理事長にも報告されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者が上司に報告し、必要であれば個人面談を実施し、業務状況を把握し、職場環境などの整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で月に数回勉強会が行われている。また、施設外研修の参加も行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内の他のグループホームと合同勉強会を行っている。今後は法人外のグループホームとの交流を行いながら、サービスの質の向上に努めていきたい。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時によく話し合い、情報の収集に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時によく話し合い、情報の収集に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	対応できるように努めている。今後も本人やご家族の希望があれば他のサービスを利用できるように対応していきたい。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員が一方向的に介護するのではなく、共に生活をするということを心がけながら、入居者と一緒に生活し、喜怒哀楽を共にしながら支えあっていききたい。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者様とご家族との関係を理解し、ご家族の負担が過度になり過ぎないように配慮しながら、職員とご家族が協力しあって、入居者様を支え続ける努力をしている。面会時間はゆっくり過ごしていただけるように環境に注意している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の協力を得ながら、関係継続の支援に努めている。	食事会へ行ったり、お正月やお盆には自宅に帰ること等を家族の協力を得て行えるよう支援している。また、事業所に家族が多数来訪し、楽しい一時が過ごせるように配慮する等、関係継続の支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、なじみの関係を築けるよう配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所先に面会に行ったり、情報収集を行ったりして関係を維持している。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の希望や意向を出来るだけ把握するように努めている。また、伝える事が出来ない利用者様に対しては、職員が本人の気持ちを察して入居者様本位のケアを実施できるように努めている。	毎日の関わりの中で利用者の希望や意向をくみ取り、支援するよう努めている。困難な場合は家族に尋ねたり、利用者本位のケアを検討し、支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	情報提供書のみでなく、家族や関係職員との情報交換を行い、生活歴などの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	各職員が日々の生活の中で見極め、毎日の申し送り、毎月の検討会などで情報交換を行い状況を把握している。業務前の申し送り徹底と申し送りノートの活用をしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月の検討会で介護計画の見直しを行っている。見直し以前に大きな変化生じた際は話し合いの上新しい介護計画を作成している。家族の意見や本人の考えを尊重し、介護計画に反映させるためにも、家族との面談を行っている。	職員を利用者ごとの担当制にしているが、日々の変化を業務日誌に記載し、情報の共有を図るとともに、毎月職員全員で介護計画の検討会を実施して見直しを行っている。介護計画の作成に当たっては、家族の意見や本人の意向を尊重し、面談の上反映している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者様の状態などを出来るだけ詳しく記録するように努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々要望に出来るだけ応じ、臨機応変に対応している。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	関係機関の理解を頂き、本人の状況により関係者で話し合い、できるだけ限りの支援を行っている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	法人内の病院が主治医となっており、2回/月の定期往診を受けている。また、家族の協力を得ながらかかりつけ医での治療を受けられている。今後も医療機関との連携を密にし、適切な医療を受けられるように支援していきたい。	法人母体の医師が主治医となっており、月2回の定期往診を受けている。かかりつけ医や他科の診療については、家族の協力を得て受診いただいている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携看護師が月の半数(夜勤を含む)勤務している。准看護師が月に3日程度勤務しており、必要時は適切な支援が出来る体制が整っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	法人内の病院に主治医がおり、相談しながら対応している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医と相談しながら行える体制は整っている。	重度化や終末期の支援に関わる指針を作成し、契約時に説明を行い同意を得ている。入院治療を必要としてサービスの提供が困難な場合には主治医と相談しながら行う体制をとっている。これまでに重度化や終末期の支援の実績はない。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	勉強会を利用し、知識や技術を学んでいる。常日頃から緊急時に対応できるよう職員一人一人が十分注意しながら生活支援を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	グループホーム独自に年2回防災訓練を行い、消防署にも年に1回指導を受けている。今後は地域住民の参加を呼びかけていきたい。	消防署の指導の下に1回と夜間を想定した独自の火災消火訓練を2回実施している。自動火災報知機とスプリンクラーも整備されている。近隣の住民の方には日頃の挨拶の折等に協力をお願いをしている。また、利用者の安心・安全のため、夜勤者以外に宿直者も配置されている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人権やプライバシーを尊重しながら生活支援を行っている。相手を思いやる気持ちを忘れないように努めている。	毎月のスタッフ会議の折や法人全体の研修で接遇研修が実施されており、利用者の誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	相手の話を十分に聞くと共に、こちらの話がよく伝わるようにわかりやすく話すように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来る限り本人のペースに合わせ、見守りを中心とした支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	希望があれば家族の協力を得て、本人が望む理美容院を利用してもらうようにしている。外出が難しい時は訪問理容を利用している。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る範囲で手伝って頂いている。	食事が楽しみなものとなるよう献立を大きくお知らせしており、できあがった料理が利用者の食卓テーブルの横で盛り付けされている。職員と利用者は一緒に食事をして、ゆっくりとした介助を行っている。栄養面のチェックは法人の栄養士が実施している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	必要であれば管理栄養士と連携し、適切な栄養摂取が出来るように努めている。また、職員の中に栄養士の資格を持ったスタッフがいる。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きを実施。義歯使用の方は、毎食後歯ブラシや洗浄剤を使用し清潔保持に努めている。夕食後は必ず職員による仕上げ磨きを行うようにしている。また、必要により歯科往診にて口腔ケア指導を受けている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	各自の排泄パターンを把握し、早めの声かけ誘導を行い、失敗を減らす努力をしている。	一人ひとりの排泄パターンを把握し、早めのトイレへの誘導を行い、自立に向けた支援している。夜間帯もトイレでの排泄を促している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳を毎日飲んで頂いている。食事やおやつに食物繊維の多い食材やヨーグルトを使用し、便通が良くなるように心がけている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことのできる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的に二日おきの入浴を実施している。希望があれば応じる体制は整っている。また、できる限り浴槽内でゆっくりできるように時間の配慮を行っている。	浴室はゆったりと広く、浴槽も大きい。基本的に2日おきの入浴を実施しているが、希望があれば応じる体制となっている。	

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の習慣やその時の状況に応じて休息を促したり、安眠できるように支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様の服薬状況や薬の用法・用量について把握し、不明な点があれば薬剤師・看護師に聞いたり、薬辞典で調べたりして確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人がやりたいことを重視し支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節に応じた野外活動や本人の希望による家族との外出等の支援を行っている。今後、買い物同行が出来るように対応していきたい。	利用者の多数が同一法人のデイケアに出掛けているが、事業所から15分程かかり、毎日の外出の機会となっている。また、季節に応じた野外活動や利用者家族と食事会等に出掛けたり、買い物の同行をする等、日常的な外出支援に努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にはご本人がお金を持つ事が無いようにしているが、家族の希望があればその都度検討する様にしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば家族に電話をかけたり、手紙を出したりするなど支援を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価 (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた花を生けたり、ホーム内を飾りづけすることにより、季節感を感じることが出来るように工夫している。また、各トイレには消臭剤を置き換気するなど臭いを軽減するように工夫している。	事業所の入り口には大きく書かれた「やどりぎ」の表札がある。玄関から続く広いフラットな廊下の先にあるキッチンとリビングからは手入れの行き届いた中庭の沢山の樹木を愛でることができる。日中はリビングの両脇の畳の間の居室をオープンにしているため、広々としてゆったりとした空間になっている。共用の空間は不快感や刺激もなく、居心地よく過ごせるよう配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファが置いてあり、くつろげるようになっている。また、窓際に椅子を移動し日光浴が出来るように配慮したりしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の協力を得て、ご本人が使用されていたものや欲しい物を持参して頂き、居室が快適になるように工夫している。	各居室には手洗器とベッド、整理ダンス、クローゼットが整備されている。家族の協力で写真を飾ったり、椅子やテーブルを置いたり仏壇を祀っている利用者もあり、本人が居心地よく過ごせるよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下や階段には手摺りが設置しており、安全面の配慮を行っている。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)		1. ほぼ全ての利用者の
		○	2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)		1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
		○	3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)		1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)		1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
		○	4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印をつけてください	
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない